

FUREAINO MACHIZUKURI

滴翠会会報

2024
月刊

3月号

第399号

平成3年1月創刊

社会福祉法人 滴翠会



明翠苑の雛飾り

ひなまつり

三月と言えば「ひなまつり」です。

日本におけるひな祭りの起源は諸説ありますが、平安時代と言われており女の子の健やかな成長を祈る年中行事で、一般には江戸時代に広がったと言われる歴史ある伝統行事です。

滴翠会の各施設でも、この時期はそれぞれ、ひな人形が飾られています。

なかでも明翠苑の七段飾りは見事です。ひな人形を出す利用者様も、年々歳が大きくなりますが、人形を箱から出し、飾る時には心ときめかせ「かわいらしいね」とお話しをしながら飾っていました。

これからも日々の生活に四季折々の年中行事を取り入れて、日本の古き良き文化を感じていきたいと思えます。



ひなまつり 女性利用者の皆様

● 養護老人ホーム
 とき すい えん
滴翠苑だより

かすみがうら市横堀四五―一五
 TEL 〇二九九―五九一三六三一

ひな祭り

三月三日は、桃の節句・ひな祭りです。全国的にお祝いをしますが、滴翠苑は少し早めの三月一日に行いました。

集会室にはお内裏様とお雛様の人形と桃の花が飾られました。利用者の皆様からは「可愛いね」「綺麗だね」との声が聞かれました。

うれしいひなまつりを歌ってひな祭りの始まりです。乾杯し、桜餅とひなあられを召し上がりました。

余興で男性利用者の皆様がそれぞれ十八番のカラオケを披露され、女性利用者の皆様のお祝いをしていただきました。最後に記念撮影をしてひな祭りは終了となりました。

女性利用者の皆様、桃の節句おめでとうございます。来年もまた元気に桃の節句を迎えられますように願っております。

座談会

滴翠苑では、月の初めにその月の行事や健康管理上の注意等をお知らせするため、また利用者様からのご意見やご要望を聞くために座談会の場を設けています。

苑でのより良い生活を過ごしていただけのように職員一同努めておりますが、生活されている方のご意見は大変参考になります。二月の座談会では、食事のメニューについて多くの要望が出ました。

ここで出されたご意見は、職員側で検討して苑での生活へ反映していきます。また施設内の設備についても要望がありましたら随時対応して生活環境を整えていきたいと思っております。

利用者の皆様が健康的でより良い生活が送れますように環境作りに努めてまいります。



趣味の会 手芸

余暇活動

滴翠苑では、余暇活動として週二回カラオケクラブ、週に一回趣味の会として手芸や塗り絵など各々やりたい事を取り組まれています。最近では、大きめのプラモデル作りに挑戦する方もいらっしやいます。

まもなく春になりますが、有志の方々が畑で野菜や花を植えて育て始めます。

それぞれやりたい事を取り組まれている利用者様に話を伺うととても楽しいと話をされます。また余暇活動は、リラックス効果や免疫力の向上にもつながります。健康寿命を伸ばすことにも大いに役立つとのこと力を入れています。と思っています。

秋の文化祭では、利用者の皆様が作った作品が展示されます。どのような作品になるか楽しみです。

今年度を振り返って

まもなく三月が終わり、今年度を迎えます。令和五年度を振り返ると様々な出来事がありました。大きな出来事といえば新型コロナウイルスの感染法上の分類が「二類」から「五類」に変更になったことでしょうか。

四年前新型コロナウイルスが世界的な流行となり、生活様式が変わりました。滴翠苑でも施設の設備等の感染対策の強化を行いました。

五類になったことで徐々に以前の生活を取り戻しつつあります。今年度は感染の状況を見ながら、外出行事やご家族様との交流行事を行っていききたいと思います。

✿3月の行事

| | |
|--------|-------|
| ひな祭り | 3月1日 |
| お誕生会 | 3月21日 |
| 総合健康診断 | 3月26日 |



輪投げを楽しむ皆さん

● 救護施設
 慈翠館だより

石岡市半ノ木一―四六一
 TEL〇二九九―二四―二八七一

みどり会レクリエーション

慈翠館では、二月二十二日にみどり会主催による輪投げのレクリエーションが行われました。本来ならばグラウンドでの開催を予定していましたが、雨天のため室内での実施となりました。利用者様達は皆真剣な表情で輪投げに臨み、程よい緊張感と一喜一憂のある楽しい時間となりました。

レクリエーションの開催にあたり、みどり会役員の利用者様達には準備片付け、競技中の輪の回収、点数記入など全てにサポート頂き、みどり会の本分である、利用者様と施設が一体になれる催しにすることができました。

二月も終わりが見え始め、少しずつ暖かさを感じる日が増えてきました。慈翠館では各季節の行事が豊富にありますが、今日という日が利用者様の良き思い出になって頂けたら幸いです。

図上訓練

慈翠館では月に一度、様々な災害に備える為に避難訓練を行なっています。職員はその他に消防器具の操作、設置場所の確認、スプリンクラー・屋内消防栓・発電設備の操作等を熟知するための図上訓練を行なっています。今回は災害警報装置に焦点をあてて図上訓練を行いました。

職員は災害や緊急事態等が発生した際に、いち早く利用者様に危険を知らせる為の装置の操作方法や、火災を感じし警報が鳴った場合等、その場面においてどの様な行動をしなければならぬのかを全員で学習しました。

この様な訓練で、様々な状況の中、利用者様が迅速な避難で安全を確保できるような必要とされるスキルや知識の向上に日々努めております。



リハビリ運動の発表

年度末作業発表会

三月八日年度末作業発表会が開催されました。

第一部は各作業班が作業内容や、作業中の困った事、良かった事等一人一人発表していきました。洗濯班では、洗濯たたみや配る事以外に、大部屋の掃除・新聞折り等多くの作業を行なっている事に、皆さんびつくりされていました。

第二部の会食では、わかめご飯・味噌汁・天ぷら・茶碗蒸し・季節の苺等を召し上がり一年間の労に感謝しました。皆さん「美味しいね、苺良かったね」と満足された様子でした。

今年度の夏はとても暑く大変でしたが、館内外が何時もきれいに保たれている事に感謝を持ち、これから作業で体を動かして暑さにも負けず頑張って体力をつけて行きましよう。

お墓掃除とお参り

慈翠館では、年三回春のお彼岸とお盆、秋のお彼岸に合わせ、慈翠館の利用者様の代表と明翠苑・慈翠館の職員で石岡市の半ノ木にある「半ノ木霊園」へお墓掃除とお参りに行っています。半ノ木霊園にある墓地は、滴翠会のお墓で、施設在籍中に亡くなられた方達が眠っています。

まず、皆で草取りを行い、その後バケツに水を汲み墓石、花筒、線香立て等を丁寧に洗って、きれいな雑巾で拭き上げます。次に用意しておいた仏花を墓石に供え、最後に線香をあげて手を合わせます。掃除を行った利用者様と職員は、清々しい気持ちになり、墓石に眠る一緒に生活していた利用者様達に思いを馳せながら、今生活できている事に感謝しつつ、これからも元気に過ごせるようにと祈りました。

＊3月の行事

| | |
|----------|-------|
| 年度末作業発表会 | 3月8日 |
| 誕生会 | 3月12日 |
| お花見 | 3月27日 |



親王飾りの前で

特別養護老人ホーム 明翠苑だより

石岡市半ノ木一―四八―
TEL〇二九九―三三九六二〇

ひなまつり

三月三日は「ひなまつり」です。

明翠苑でも、二週間前から食堂と玄関に「親王飾りのひな人形」を、ユニットには豪華な「七段飾りのひな人形」を飾りました。利用者様からは「いつも見ても綺麗だね」「目がいつてしまうね」「上手に飾れたね」などの声が聞かれました。

当日は、各食堂のひな人形を眺めながらレクリエーション体操の時間に皆でひなまつりの歌を歌って、桃の節句を祝いました。

昼食は、ちらし寿司やあさりのすまし汁、春の和菓子などの特別メニューを召し上がって頂き、「とても美味しい」と喜ばれていました。

段々と春の陽気が感じられる暖かい日が増えてきましたが、まだまだ寒い日がありますので風邪等には、十分注意して過ごしましょう。

図上訓練

明翠苑では、十一月から三月まで感染症対策の為、避難訓練ではなく防災担当者を中心に職員のみで集まり、さまざまな防災対策や防災設備について話し合いや使い方を学ぶ「図上訓練」を毎月一回実施しています。

防災担当者を中心に、スプリングラーが作動した際の止め方、災害対策や土嚢の積み方、雪の日対策、発電機の使い方、ガス発電機の使い方などを職員で確認しています。

今月は、今年に入り地震が多いので、職員皆で話し合いを行いました。東日本大震災の時の様子を参考に、水、電気、ガスのライフラインの状況だったり、非常食の確認など備えてあるものを再度確認しました。

これからも皆様が安心して生活できますよう日々訓練してまいります。

ふぁみりー通信

2月の出来事

- 2月1日 「座談会」を行いました。
 今月の予定を説明したり、利用者様からの要望などを伺ったりしました。その後、万寿会主催の誕生会を開き、1月と2月の誕生者にプレゼントをお渡ししました。
- 2月3日 「節分」で、豆まきを行いました。明翠苑にたくさんの福がきますようにと豆をまきました。又、おやつにお饅頭と福茶を召し上がって頂きました。
- 2月17日 明翠苑の敷地内に植えてある樹木の枝などを業者に依頼し、剪定してもらいました。利用者様からは「ご苦労様です」と労いの言葉が聞かれていました。
- 2月21日 「介護用品点検清掃」を行い、普段皆さんが使用している、ベットの確認をしました。電動ベッドのリモコンは、正しく作動するか、ねじなどの外れ物は、ないかなど点検しました。
- 2月24日 お地蔵様の縁日でおやつに甘酒を飲み、皆さんで縁日を祝いました。

明翠苑ニュース

(2月分)

| | | |
|---------|----|--------|
| 面会 | 0件 | 延0名来苑 |
| 外出 | 0件 | 外泊0件 |
| ショートステイ | 2名 | 延40日利用 |

明翠苑の「日常あ・れ・こ・れ」

事業計画書

今回は、明翠苑の事業計画書についてご紹介いたします。

年度毎に「事業計画書」を作成しています。明翠苑に限らず滴翠会の各施設は事業計画書を作成し、製本して職員がいつでも見られるように配布しています。

事業計画書とは、簡単にいえばその年度に実施する事業の内容が書かれた計画書です。

その内容ですが、まず理事長のあいさつ文があり、続いて法人・施設の沿革、そして各施設の事業計画が記されています。

明翠苑では、最初に基本方針、運営方針、重点項目が記載されます。次に「生活相談」という項目で、入所手続き及び入所までの過程、入院と退院、ケアプラン（介護計画の作成、グループケア、貴重品管理、ボランティア、ご家族等との連絡といった見出しで、どのように行うか、どのように進めていくのかといったことが書かれています。

他にも「身辺介助」「身体拘束」「目標・年間行事」「医療看護」「給食」「短期入所」「消防計画」「防災訓練」「施設保守管理」「組織構成・業務分掌」等の項目があります。

これらの事業計画書を職員自ら作成し、その年度の計画を立てた上で事業を実行しています。



パタパタゲームを楽しむ皆さん

● デイサービスセンター
 かすいかいかん
華翠会館だより

石岡市半ノ木 一四八〇
 TEL 〇二九九―三三―八二〇〇

利用者数 8名(男1名 女7名)
 レクリエーション パタパタゲーム

今日はうちわを使ったパタパタゲームを行いました。2チームに分かれて机の周りに座り、机の上には広告をたくさん散りばめて、うちわで仰いで相手コートにたくさん送ったチームの勝ちです。うちわを仰ぐ力と、チームワークが必要とされるゲームです。勝敗が決まると、とても楽しかったという声が聞こえてきました。

デイサービス日誌

2月28日(水)

利用者数 8名(男4名 女4名)
 工 作 ひな人形の壁飾り

今日は、工作でひな人形の壁飾りを作りました。紙皿に色紙をちぎったものをきれいに貼っていきます。次に、トイレトペーパーの芯に、折り紙を髪の毛・着物・飾りに切った物をのりで順番に貼り付け、目や口を書いていきます。最後に紙皿に貼って出来上がりです。いろんな顔のひな人形が出来ました。

デイサービス日誌

2月17日(土)

翠すい **進**しん **会**かい

社会福祉法人滴翠会 退職職員後援会

滴翠会を退職された皆様の親睦と互助を進めます。

明翠苑居宅介護 支援センターだより

石岡市半ノ木一―四八一―
TEL 〇二九九―三三―九六三四

みどり色(翠)に込めた思い

八郷盆地から見上げる山々が萌木(もえぎ)色(黄緑色)に染まる時期となりました。この地で仕事をしていると季節の移り変わりを色で感じることができ心が癒されます。

いしおか八郷地区を色で表すと「みどり」となるでしょうか。山のみどり(余談ですが歴史作家の司馬遼太郎さんは談話の中で、先人達が山を敬い植樹等の自然保全を続けたお蔭で、地滑りや崩落から山肌を守り美しい日本の景観が保たれたと述べています。)<田畑のみどり(雨風に打たれても決して屈せず種を撒き作物を育てる農人(みのりびと)の思いの結晶の

色)>そして豊かな自然を映す清流・恋瀬川の碧(あお)みどり。これらの*みどりに共通するものは人々が必死で守り抜いてきたもの。生命の色。

昭和五〇年代。我が国は勤勉で良識のある国民性の下、国際的な競争力を高め経済大国への道を進んだ時代。そしてその時代は(大量生産大量消費を謳歌する時代の歪(ひず)み)として貧富の差が拡大する分岐点の時代でもありました。そんな光と影が交差する時代にある一人の男性の思い(傷ついた人々の苦しみを取り除き、本来その人が持つ生きる力の蘇生を願う心)が石岡の地にかたちとなって結実します。

それはすなわち人々を救護する施設の設立。救護の源流は日本国憲法二十五条。生存権です。人は誰しも健康的で文化的な生活をおくる権利を有する。国はそれを保証するというものです。先の通り経済優先で傷ついた者達を置き去りにす

る風潮に、この男性のいわば反骨、弱きを助けるといふ慈愛の心がこの生存権とリンクした瞬間でした。

多くの苦難を乗り越えこの思いを具現化する時、あるいは冒頭の八郷の美しい*みどり色の真意が彼の脳裏をよぎったでしょうか。<印象に残る一言。施設とはそこで暮らす人々が自立的な生活を送る場であると同時に地域住民によってつくられるもの。すなわち愛されるものでなくてはならない。そうでなければ存続しない。であるならば地域住民の就労の場でもあるべきだ。救護という人間らしい行為を通じて生活の糧を得て、その人自身も地域と結びつき暮らして欲しい。>設立から半世紀の刻を経て、今日もまた多くの人達が命を紡ぐ。彼の愛したみどり(翠)は翡翠(ひすい)色のみどり。人の手によって磨かれる程にその真価(輝き)を發揮する色。

介護支援専門員 岡野 貴

お知らせ

陽春の候皆様におかれましては、ますますご清栄のことと存じ上げます。

平素は格別のご高配を賜り誠にありがとうございます。

去る一月十七日に当法人創設者高木康夫が永眠いたしました。

ご通知が遅れました事深くお詫び申し上げます。ここにあらためて生前のご厚誼に深謝申し上げます。

今後とも故人の遺志を継ぎ社会福祉発展に専心努力いたす所存でございます、何卒格別のご指導ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

略儀ながら書中似てご挨拶申し上げます。

社会福祉法人 滴 翠 会

理事長 高木康樹



ご利用をお待ちしています

| | | | |
|-----------------------------|---|-----|---------|
| 養 護 老 人 ホ ー ム | 滴 | 翠 | 苑 |
| 救 護 施 設 | 慈 | 翠 | 館 |
| 特 別 養 護 老 人 ホ ー ム | 明 | 翠 | 苑 |
| ユ ニ ッ ト 型 特 別 養 護 老 人 ホ ー ム | 明 | 翠 | 苑 |
| シ ョ ー ト ス テ ィ 施 設 | 明 | 翠 | 苑 |
| 独 立 型 デ ィ サ ー ビ ス セ ン タ ー | 華 | 翠 会 | 館 |
| 明 翠 苑 居 宅 介 護 支 援 セ ン タ ー | 支 | 援 | セ ン タ ー |

職 員 募 集 中 詳しくは施設へご連絡下さい

医 療 法 人 高 木 医 院
宗 教 法 人 時 宗 華 園 寺
社 会 福 祉 法 人 滴 翠 会 退 職 職 員 後 援 会 翠 進 会

